

7 配偶関係別の自殺の状況

○平成26年における配偶関係別の自殺死亡率の状況を見ると、男女共に「有配偶者」は全ての年齢階級で各年代別の総数よりも低くなっている一方、「未婚」、「死別」、「離別」は高くなっている。

第1-34表 平成26年における配偶関係別の自殺死亡率の状況

男						
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	31.6	27.5	25.4	35.3	36.6	36.0
有配偶者	21.5	11.1	12.0	18.6	24.0	26.0
未婚	37.5	31.1	38.2	57.2	61.3	85.0
死別	64.7	—	74.7	81.1	75.0	63.7
離別	127.9	124.2	125.7	155.2	123.2	116.4

女						
年齢階級	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	13.1	10.2	10.6	13.4	12.8	16.3
有配偶者	9.9	4.2	5.6	9.0	9.6	13.4
未婚	13.4	11.7	18.2	21.8	27.2	18.9
死別	19.1	—	25.2	33.6	14.2	19.1
離別	32.6	42.1	33.3	35.3	29.3	31.6

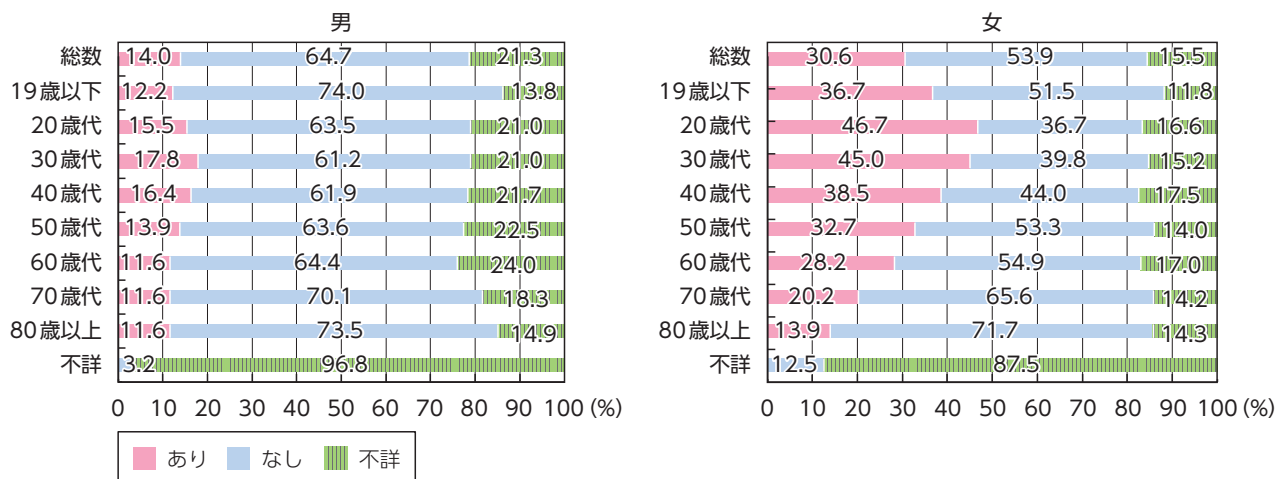
注：1) 総数には15～19歳及び年齢不詳を含む。
 2) 総数には配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」再集計及び国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2015）」より
 厚生労働省自殺対策推進室作成

8 自殺未遂の状況

○平成27年における自殺者の自殺未遂歴の有無についてみると、全ての年齢階級で、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は、女性が多くなっている。

第1-35図 平成27年における自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成